

生後1ヶ月～首すわり(4ヶ月)までの「抱っこ」
(D'accord plus(ダッコールプラス)または別売のダッコールシリーズ専用新生児用キットを使用する場合のみ)

注意 抱っこするときは安全な場所を確保し、行ってください。

準備

- ①「抱っこ」に共通の準備をご確認ください。
- ②インサートパッドが装着されていない場合は、図のように左右の固定テープで肩ベルトを束ねてボタンをとめ、取り付けてください。
- ③内側を上にして、ベッド等安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。



装着

- ①お子様をインサートパッドの上に乗せてください。インサートパッドの頭当て(チューブ形状部分)が側頭部に当たる高さになります。
- ②お子様のお尻がメッシュ下部よりも上にある場合は、クッションやタオルを巻いたものを座面に敷いて調節してください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。
- ③ヘビー肩ベルトはインサートパッドの外側を回してください。
- ④インサートパッドの上からヘビーハーネスを装着してください。

※3ページ「ヘビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。



注意

- ⑥一度肩ベルトの付け根の外側に両手を添えて、持ち上げてから手を添えたまま座らせて、左記のチェックをしてください。

チェック1: 頭が動かして、か、くらくらない
チェック2: 気道確保! 股あてとの間隔がある
チェック3: 胸にごぶし1個分の余裕あり
チェック4: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている
チェック5: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレていない

⑦肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。

⑧抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を起こしてください。

⑨肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

⑩鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない
チェック2: 気道確保! の再確認
チェック3: お子様の顔が装着者の胸に密着していない
チェック4: 頭が左右に動かせる
チェック5: お子様の手足が挟まれていない
チェック6: 無理な体勢になっていない

※1 気道確保: お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

※2 気道確保: お子様の顔が装着者の胸に密着していない

※3 気道確保: お子様の頭が左右に動かせる

※4 気道確保: お子様の手足が挟まれていない

※5 気道確保: 無理な体勢になっていない

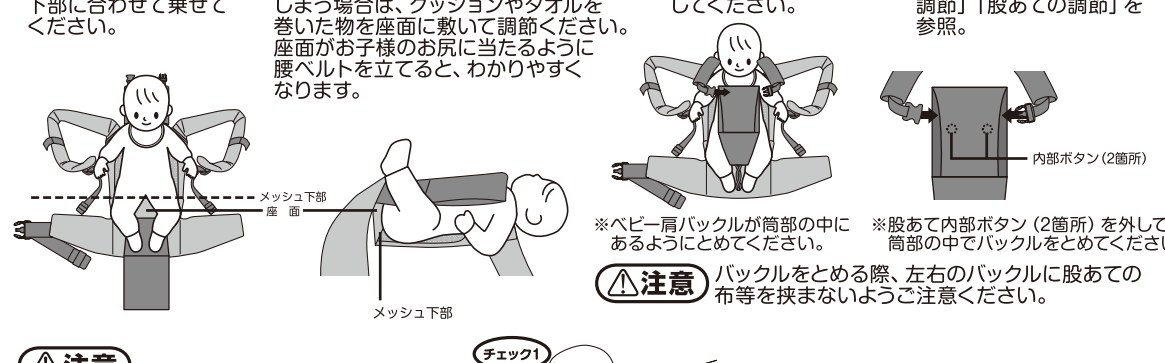
首すわり(4ヶ月)～36ヶ月(体重15kg)までの「おんぶ」

注意 おんぶするときは安全な場所を確保し、行ってください。

準備

- ①サポートベルトの上下位置を、ご自分の快適な位置に調節してください。通常はだっここの位置より下側になります。サポートベルトの長さを調節してください。
- ②インサートパッドが装着されている場合は、外してください。内側を上にしてベッド等の安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。



装着

- ①お子様の股をメッシュの下部に合わせて乗せてください。
- ②お子様の顔が抱っこひもの中に隠れてしまう場合は、クッションやタオルを巻いた物を座面に敷いて調節ください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。
- ③ヘビーハーネスを装着してください。
- ④インサートパッドの上からヘビーハーネスを装着してください。

※3ページ「ヘビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。

※ヘビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。

※股あて内部ボタン(2箇所)を外してから筒部の中でバックルをとめてください。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

注意

- ④一度手を添えて座らせて、下記のチェックをしてください。

チェック1: 気道確保! 股あてとの間隔がある
チェック2: 胸にごぶし1個分の余裕あり
チェック3: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている
チェック4: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレていない

⑤お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

⑥肩ベルトに腕を通して、肩に掛け、静かに起き上がってください。

⑦肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

警告

- ⑨鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: 気道確保! の再確認
チェック2: お子様の顔が装着者の背中や胸に密着していない
チェック3: 頭が左右に動かせる
チェック4: お子様の手足が挟まれていない
チェック5: 無理な体勢になっていない

「おんぶ」からのお子様のおろし方

注意 お子様をおろすときは安全な場所を確保し、行ってください。おんぶではお子様が見えにくいので特にご注意ください。

装着するときの逆の手順でおろしてください。

- ①サポートバックルを外してください。
- ②お子様を寝かしながら肩ベルトを外してください。
- ③腰ベルトの腰バックルを外してください。

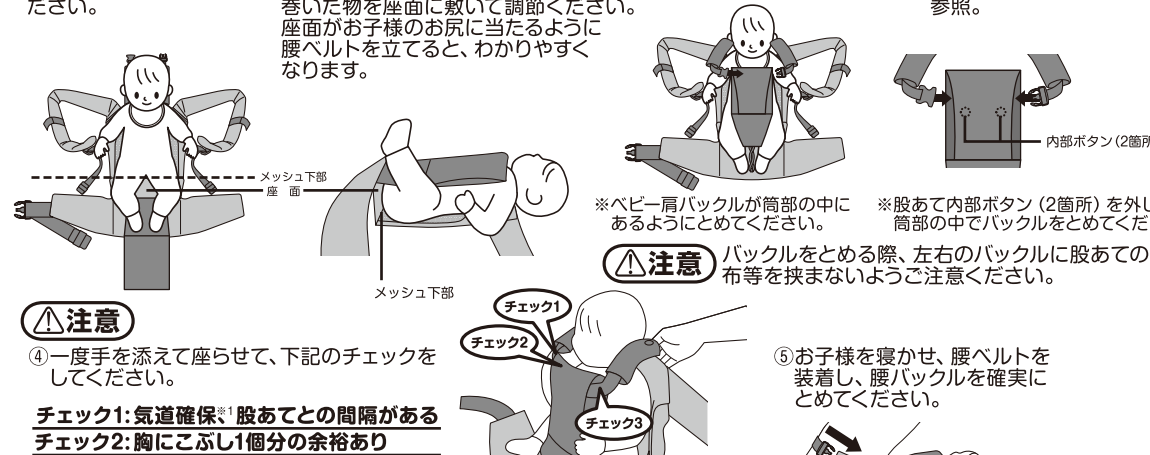
首すわり(4ヶ月)～24ヶ月(体重13kg)までの「抱っこ」

注意 抱っこするときは安全な場所を確保し、行ってください。

準備

- ①「抱っこ」に共通の準備をご確認ください。
- ②インサートパッドが装着されている場合は、外してください。内側を上にしてベッド等の安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。



装着

- ①お子様の股をメッシュの下部に合わせて乗せてください。
- ②お子様の顔が抱っこひもの中に隠れてしまう場合は、クッションやタオルを巻いた物を座面に敷いて調節ください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。
- ③ヘビーハーネスを装着してください。
- ④インサートパッドの上からヘビーハーネスを装着してください。

※3ページ「ヘビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。

※ヘビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。

※股あて内部ボタン(2箇所)を外してから筒部の中でバックルをとめてください。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

注意

- ④一度手を添えて座らせて、下記のチェックをしてください。

チェック1: 気道確保! 股あてとの間隔がある
チェック2: 胸にごぶし1個分の余裕あり
チェック3: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている
チェック4: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレていない

⑤お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

⑥肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。

⑦抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を起こしてください。

⑧肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

⑨鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: 気道確保! の再確認
チェック2: お子様の顔が装着者の胸に密着していない
チェック3: 頭が左右に動かせる
チェック4: お子様の手足が挟まれていない
チェック5: 無理な体勢になっていない

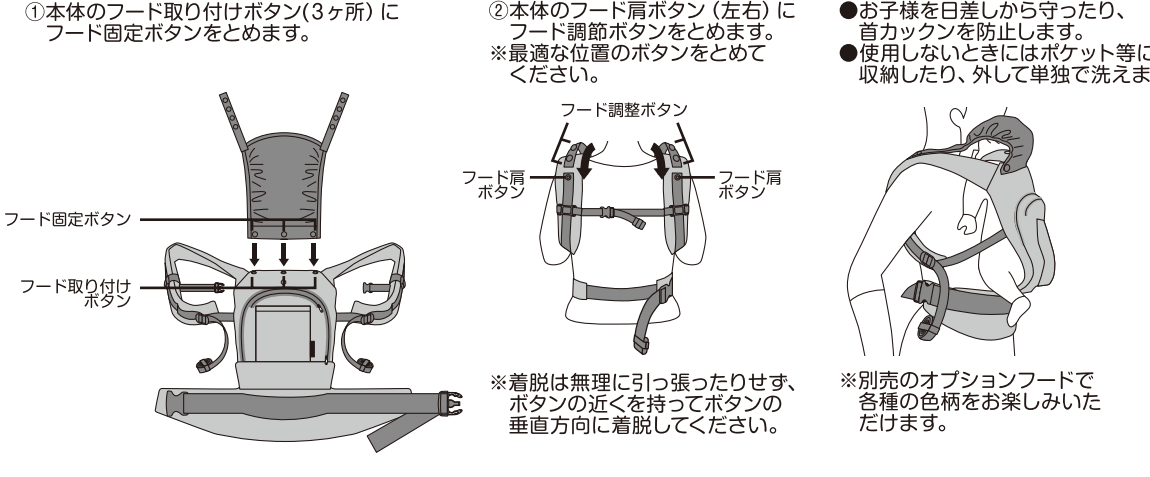
「抱っこ」からのお子様のおろし方

注意 お子様をおろすときは安全な場所を確保し、行ってください。

装着するときの逆の手順でおろしてください。

- ①抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を下げ、お子様を寝かせてください。
- ②首の後ろでサポートバックルを外してください。
- ③腰ベルトの腰バックルを外してください。

フードの使い方



まるめる収納

- ①腰ベルトを付けたままで腰ベルトを持ち、身体と平行にします。
- ②手前にまるめてください。
- ③まるめるコードをまるめるボタンにかけます。腰ベルトにまとめた状態の完成です。
- ④腰ベルトを外して、腰ベルトを巻くとさらに小さく収納できます。

※1週間以上保管するときは、販売されていたときと同様にたたむかハンガーに掛け、肩ベルト等に負荷のかからない状態にしておいてください。変形することがあります。

換気窓の使い方

- ①換気窓ファスナーを開けてください。
- ②換気窓カバーを腰ベルト外側のバンドに挿入してください。

※換気窓を使用しているときには小物入れとポケットは使用できません。

お手入れ

30℃を限度とし、洗濯機(非常に弱い洗濯)か、やさしく手洗いをしてください。

漂白しないでください。タンブラー乾燥機は使用しないでください。

遠心脱水の場合は短時間で実施し、形を整えて日陰の干しをしてください。

アイロン掛けはできません。ドライクリーニングはできません。

ウェットクリーニングができます。(非常に弱い処理)

●色落ちする場合がありますので他のものとは別に洗ってください。

●洗濯ネットを使用し、すべてのバックル類をはめ、無蛍光洗剤を使用してください。

●洗濯すると縮むことがあります。

●軽い汚れは、濡った布でたたいて落としてください。

●生地表示等は、製品の洗濯表示ラベルを参照ください。